

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊方町	二見地区 (二見・加周・古屋敷 ・田之浦・鳥津・大成)	令和3年3月19日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	30.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	24.3ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	17.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	14.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	-
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	0.6ha

- 注1:③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
 注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
 注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
 注4:プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

二見地区では、高齢化と後継者不足が深刻であり、今後中心経営体が引き受ける意向の耕作面積よりも、規模縮小をしたい農地の面積が多く、新たな農地の受け手の確保が必要。 また、耕作者の減少によりスプリンクラー等の維持経費も大きな負担となっている。また、収穫時期(繁忙期)の労働力不足も課題である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

二見地区の農地利用は、中心経営体の隣接する農地は、中心経営体へ集積していく。入作を希望する認定農業者やIターン等、新規就農者への受け入れを積極的に行うことにより対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地の維持・保全に関する取組方針 地域内の管理(草刈り)等を委託するなどして、農作業に集中できる方法を検討していく。農業の関係人口(副業等)を増やして、集落全体での農地維持を図る。</p>
<p>労働力確保への取組方針 町見雇用促進協議会で行っているアルバイト事業やJAの農作業支援を積極的に利用する。また、集落を訪れるアルバイトから新規就農者を確保する。</p>

(参考)中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状 [R2年度]		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲 (集落)
1	認農 A	温州みかん 中晩柑	219 a	温州みかん 中晩柑	219 a	二見
2	到達 B	温州みかん 中晩柑	125 a	温州みかん 中晩柑	125 a	二見
3	認農 C	温州みかん 中晩柑	145 a	温州みかん 中晩柑	145 a	二見
4	認農 D	温州みかん 中晩柑	43 a	温州みかん 中晩柑	43 a	二見
5	認農 E	温州みかん 中晩柑	50 a	温州みかん 中晩柑	50 a	二見
6	認農 F	温州みかん 中晩柑	55 a	温州みかん 中晩柑	55 a	二見
7	認農 G	温州みかん 中晩柑	69 a	温州みかん 中晩柑	69 a	二見
8	認農 H	温州みかん 中晩柑	48 a	温州みかん 中晩柑	48 a	二見
9	認就 I	温州みかん 中晩柑	55 a	温州みかん 中晩柑	115 a	二見
10	到達 J	温州みかん 中晩柑	123 a	温州みかん 中晩柑	123 a	二見
11	到達 K	温州みかん 中晩柑	70 a	温州みかん 中晩柑	70 a	二見
12	到達 L	温州みかん 中晩柑	70 a	温州みかん 中晩柑	70 a	二見
13	到達 M	温州みかん 中晩柑	195 a	温州みかん 中晩柑	195 a	二見
14	到達 N	温州みかん 中晩柑	100 a	温州みかん 中晩柑	100 a	二見
15	到達 O	温州みかん 中晩柑	70 a	温州みかん 中晩柑	70 a	二見
			a		a	
	計 15人		1,437 a		1,497 a	